

自民党議員団清和会視察研修報告書

* 報告者

自民党議員団清和会会長 市川 慎二

* 視察研修参加議員名

市川慎二、早坂貴敏、前田孝雄、長谷文子、南出典彦、石井美季、
宮 利徳 計7名

* 視察研修日程

令和4年11月6日（日）～ 11月8日（水）の2泊3日

* 別紙「令和4年度清和会視察研修日表」

* 視察研修項目

11月7日（月） 山口県下松市
(住みよさランキングについてについて)

山口県岩国市
(岩国市観光ビジョンについて)

11月8日（火） 山口県和木町
(ガン患者補正具購入補助金について)

視察研修先・山口県下松市

視察研修項目・住みよさランキングについて

研修先対応者（名刺等）・研修風景（写真等）・研修資料等

● 研修先対応者

下松市議会事務局及び企画財政部

下松市庁舎前で記念撮影



企画財政部企画政策課から説明受け

清和会研修状況



● 研修資料

- ・ 行政視察思料「下松市について」
- ・ 令和4年度議会要覧
- ・ 市議会だよりNo177
- ・ 下松市総合計画
- ・ ランキングで見る
- ・ 下松観光ガイドブック

視察研修先・山口県岩国市

視察研修項目・岩国市観光ビジョンについて

研修先対応者（名刺等）・研修風景（写真等）・研修資料等

● 研修先対応者

岩国市議会事務局及び産業振興部



岩国市庁舎前で記念撮影



財政振興部観光振興課から説明受け



清和会研修状況



岩国市議会議事堂



議事堂での記念写真



愛宕スポーツコンプレックス研修



スタジアムで記念写真



● 研修資料

- ・ 令和4年度岩国市の概要
- ・ 岩国市観光ビジョンについて
- ・ 令和3年度岩国市観光客動態調査報告書
- ・ 愛宕スポーツコンプレックス
- ・ 広島・宮島・岩国周遊ガイドブック

視察研修先・山口県和木町

視察研修項目・ガン患者補正具購入補助金について

研修先対応者（名刺等）・研修風景（写真等）・研修資料等

米本和木町長表敬



兼本議長、灰岡副議長表敬



● 研修対応者
和木町議会事務局及び保健相談センター



庁舎前で記念撮影



事務局及び保健相談センターからの説明受け



市川会長の冒頭挨拶



- 研修資料
- ・ 広報わき わき議会だより
 - ・ がん患者補正具購入費補助事業

視察研修先・山口県下松市
視察研修項目・住みよさランキングについて
報告者・市川慎二
<p style="text-align: center;">下松市 (令和4年11月7日)</p> <p>豊かな自然や快適な環境を背景に、製造業の事業拡大による設備投資や企業立地等による雇用の創出、持続可能な地域づくりやコンパクトなまちづくりに向けた社会インフラの整備等、地方創生への取り組みを着実に進めてきた結果、全国的な少子高齢化や人口減少が進行する中、R2年度には過去最多の人口を記録し、現在も微増傾向を維持している状況にあります。また、笠戸大橋によって本土と結ばれている笠戸島は、風光明媚な景勝の地であることから、瀬戸内海国立公園に指定されており、観光やレクリエーション、リゾート地として広く利用され、栽培漁業の拠点として更に地域の活性化が図られています。</p> <p>下松市の住みよさについてであります。全国ランキング13位で快適度、利便度の指標が特筆しております。始めに、指標と市民の意識は一致しているかではありますが、誇りや愛着では77%の方が感じると高く、定住意向では、83%の方がいつまでも住み続けたい、全体的な住みよさは67%が満足しております。また、中高校では、誇りや愛着、住みよさ満足度が同様な意識となっておりますが、卒業後の定着・還流では、33%と低い意識の状況で働き場所の確保を含めた点が今後の課題であると考えられます。</p> <p>次に、指標の分析では人口増加率が0, 1%で合計特殊出生率が1, 80%と高く、更に地理条件にも恵まれており、これらの強みが三方よしの地域好循環に繋がっております。</p> <p>このような中で、特に、力を入れ取り組んでいる施策は、東西のまちづくりに向けたバランス、世代の移住等が25歳から34歳が多いことから子どもを産み育てやすい環境をつくる子育て支援の充実、更に若い女性や若者の定着・還流を促す取り組みでは、地元企業の魅力ある仕事づくり、特徴のある学校づくり、女性活躍に向けた環境整備等を着実に実践し「くだまつ」がもっと住みやすく元気な「まち」であり続けたいとのことでありました。</p> <p>終わりに、課題解決に向けた体制の見直し、事業の検証等を行い、環境変化に応じ前向きに精力的に取り組まれていることに感銘を受けたところです。この度の調査では、立地条件や人口微増が本市と同じ環境であることから施策の展開については、参考となりました。今後は、若い女性や若者の定着や還流等の事業の促進とともに、子育て環境整備等により人口維持が保たれよう、</p>

視察研修先・山口県岩国市
視察研修項目・岩国市観光ビジョンについて
報告者・市川慎二
<p>岩国市 (令和4年11月7日)</p> <p>地域の優れた「光」を観ることが「観光」と言えます。</p> <p>岩国市の優れた「光」としては、吉川家を代表とする先人が創りあげた世界に誇れる歴史・文化・清流錦川を代表とした豊かな自然、地域に根差した多種多様な資源や風土があります。</p> <p>この「光」を観せるためそこに暮らしている市民が、その素晴らしさを再認識するとともに、新しい魅力を創造し、愛着と誇りを持って未来へ伝えることが必要です。岩国市の「光」に対する愛着と誇り、またそれを伝える姿勢を市民の美学と捉え、この美学を地域に根付かせ、未来を拓いていくことが岩国市が目指すべき観光の姿であります。様々な課題を踏まえて、3点の方向性であります、①錦帯橋周辺などの顕在資源を新たな発想を磨き、より多くの人の来訪、より長い時間の滞在、より多くの消費を。②市域の潜在資源を新たな活用で活かし、情報発信と「おもてなし」によりファンやリピーターの獲得。③一体的な観光資源に向けた新たな絆で手をつなぎ、周辺地域との連携の強化。であります。</p> <p>これらを踏まえ、具体的な取り組み状況であります、1点目は、錦帯橋周辺から他の地区への周遊を促すために、岩国観光総合パンフレット、季節パンフレットの作成、岩国市観光プロモーション動画の作成、webサイトにおける情報発信。2点目は、観光における周辺自治体との連携で広島・宮島・岩国地方観光連絡協議会を19市町村の構成で設置し、ガイドブック・イベント等におけるプロモーション、webスタンプラリー、メディア等を活用した周遊促進事業。3点目は、観光ガイドボランティア協会を設立し予約客の案内、定点ガイドの活動により岩国を大切に守り、受け継がれて来た自然や歴史文化を観光客に正しく理解して頂き、岩国の発展に寄与しております。4点目は新たなアウトドアのキャンプ場により、豊かな自然を満喫し川の姿を体感できる沢トレッキングや美しい川の景色を体感できる清流ボートなどです。</p> <p>終わりになりますが、環境変化に応じ前向きに精力的に取り組んでいることに感銘を受けたところです。この度の調査では本市も「はなふる」を起点に東西を軸とした周遊を促す点では、参考となりました。今後は、一体的な観光振興を行うため「観光地域づくりプラットフォーム」の設置により、地域と来訪者、双方の満足度をたかめる取り組みが必要であると思うところです。</p>

視察研修先・山口県和木町
視察研修項目：ガン患者補正具購入補助金について
報告者・市川慎二
<p style="text-align: center;">和木町 (令和4年11月8日)</p> <p>和木町とは、姉妹都市としての長い交流の中での研修視察となりました。特に、前日には町長・議長表敬訪問を行い、浸しく意見交換での会話が盛り上がったところです。また、ガーデンフェスタ北海道 2022 が盛況の中で、無事終了したこととともに開会式・閉会式にご出席、花を添えて頂いたお礼の気持ちを伝えたとところです。尚、米本町長より令和5年には、町政施行50年に当たることから、是非とも来て頂き更に交流を深めて頂きたいとの要請があったところです。現地視察では町内で唯一の幼保連携型認定こども園和木こども園を訪れ、0歳児から経営方針に基づききめ細かな育成状況には感動したところでもあります。また、その後「蜂ヶ峯岸総合公園」を訪れましたが、令和3年2月にビープラスとして竣工し、交流人口の拡大、賑わいと雇用の創出を促進することを目的とした創出拠点として、近郊も含め多くの皆様が来場しているとのことでありました。尚、公園の中で、本市との交流を深めるために、木村牧場よりポニー2頭が贈られ元気に飼育され来場者に大変喜ばれていると聞き、一層身近に感じたところでもあります。</p> <p>和木町におけるがん患者補正具購入費補助事業についてであります。がん患者に伴う外見（アピアランス）の変化に対するケアを通じ、社会参加を支援し、がん患者のQOL向上を図るため、がん治療により脱毛した場合のウィッグや乳房を切除された場合の補正下着の購入費を助成します。補正具は乳房（左右）、頭髪（かつら）、その他の補正具で今後開発される補正具も想定し、「その他」は具体的な事例を定めずできる限り相談に応じることとしております。予算は280千円で町単独事業です。開始時は利用者が多くあったがコロナ禍で減少傾向となり、現在では少し戻りつつ状況にあります。</p> <p>この度の研修では、大変お忙しいところ、米本町長・兼本議長には何から何まで対応いただき厚く御礼申し上げますとともに、和木町皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ視察報告と致します。</p>

視察研修先・山口県下松市
視察研修項目・「住みよいまちづくりについて」
報告者・早坂 貴敏
<p>＊議員個々の考察と見解＊</p> <p>■視察に至る背景</p> <p>恵庭市は、道内でも豊かな自然と交通の利便性に恵まれていることから、住みよいまちとして知られ、今もなお人口が微増していますが、高齢化社会が加速する中、今後さらにまちの魅力に磨きをかけ、人口減少に負けないまちづくりが必要です。</p> <p>■視察の目的</p> <p>山口県下松市は、全国有数の住みよいまちとしてその認知度を高め、県内で唯一人口が微増しているまちです。その優位性や魅力の発信など下松市のまちづくりを調査・研究することにより、本市の住みよいまちづくりにつなげる事を目的とします。</p> <p>■主な内容</p> <p>○下松市の主な特徴</p> <p>昭和14年に市制施行 人口57,190人（2022年10月末現在） 安価な水を供給しており、県内最安値、全国でも6位となっている。 ものづくりのまちとして知られ、鉄鋼、鉄道、造船など幅広い製造業が盛んである。 下松市沖の瀬戸内海に浮かぶ笠戸島は古くから造船業で栄え、現在では瀬戸内海国立公園に指定され、市の観光拠点になっている。</p> <p>平成10年12月末と比較すると2,186人増（4.0%増） 人口減を社会増で補う状況だったが、現在は微増傾向が鈍化し、横ばい傾向。</p> <p>出生数は年間500人程度で横ばいが続いている。</p> <p>○住みよさランキングについて</p> <p>全国13位、県内で1位を獲得</p> <p>※「住みよさランキング」は、公的統計を基に、それぞれの市が持つ「都市力」を、安心度・利便度・快適度・富裕度の4つの観点に分類し、20指標についてそれぞれ平均値を50とする偏差値を算出、その単純平均を総合評価としてランキングしたものの。</p>

住みよさランキングが高いところは、やはり人口が伸びていたり、合計出生率が高いという分析結果が出ていたりしている。

人口増の主な要因は、近年小規模の宅地化が進んでおり、東京圏ではなく近隣からの移住に伴う社会増であると分析されている。

市民アンケート調査では、市民の7～8割の方が住み続けたいという回答を得ている。(中学生や高校生に対するアンケートでも6割程度高い数字になっている。)

2060年には人口45,000人程度まで減少することが予想されているので、下松市としては50,000人をキープできるように施策の充実に取り組んでいる。

○まちづくりにおける今後の課題

若い女性の定着化が進まず、男女比較でもバランスが低い状況である。大学や就職などで若者をはじめ東京圏への転入超過が続いていることを踏まえると、女性の選択肢が増えなければ人口減少の抑制にはつながらない。その要因のひとつには、製造業のまちなので男性の雇用が多めとなっていることが挙げられる。

社会増だけを望むのではなく、いかに自然増に持っていかかが重要であるとしている。

○課題解決に向けた取り組みの方向性（市民との協働による総合計画の推進）

～しごと～

進学時や就職時における地元の大学及び地元企業の選択による若者の定着を図る。

（魅力あるしごと・学校づくり・女性活躍に向けた環境整備等）

～ひと～

小中学校時においてまちに興味や関心を持ち、知ることにより住みよいまちを目指して自分たちにできることを考えることで「くだまつ愛」の醸成をはかる。

下松ならではの地域資源を活用したふるさとの魅力向上と知名度の向上

～まち～

下松市で子どもを産み育てやすい環境をつくるなど住みよいまちの実現化を図ることで若い世代の人口定着・還流につなげる。

■所見

山口県下松市の住みよいまちづくりについて視察してきました。県内唯一の人口増のまちとして知られており、本市も道内35市で唯一人口が伸びていることからその取り組みは大変興味深いものでした。人口増の主な要因は転入超過による社会増ということで本市との類似点もありますが、豊かな水資源や鉄鋼・鉄道・造船といった製造業が盛んであることを背景に雇用の確保が図られていることがまちの強みとして挙げられます。これらの分析と今後の対応策として女性の活躍の場の創出については、どのまちにも共通する課題であると考えます。こうしたまちの強みと課題を踏まえた実効性のある取り組みを本市のまちづくりでも活かしていきたいと思っております。

視察研修先・山口県岩国市
視察研修項目・「岩国市観光ビジョンについて」
報告者・早坂 貴敏
<p>＊議員個々の考察と見解＊</p> <p>■視察に至る背景</p> <p>本市では、第二期恵庭市観光振興計画を策定し、花の拠点「はなふる」の整備や、恵庭溪谷などの魅力を活かし、交流人口の拡大や地域資源の魅力の発信等に取り組んでいます。</p> <p>■視察の目的</p> <p>山口県岩国市は、年間300万人の観光客が訪れる県内有数の観光都市です。地域資源の発信やおもてなしの精神などの先進的な取り組みを調査・研究することにより、恵庭市の観光施策の充実に向けた一助につなげることを目的とします。</p> <p>■主な内容</p> <p>○岩国観光プロモーション戦略（推進）協議会</p> <p>岩国の各観光協会、岩国商工会議所、各商工会、観光事業者、その他の民間団体等が一体となり、岩国市観光ビジョンに沿った展開を行い、観光振興及び活力あふれる地域づくりに向けて「岩国観光プロモーション戦略（推進）協議会」を設立した。</p> <p>主な事業内容としては、岩国市の観光振興の総合プロデュース、岩国市観光ビジョンに沿った取り組み、観光客の誘客促進、観光関係団体等との連絡調整及び連携を推進している。</p> <p>○広域的な観光戦略</p> <p>観光における周辺自治体との連携を進めており、広島（原爆ドーム）・宮島（厳島神社）・岩国地方（錦帯橋）を周遊するといった観光レクリエーション行政の運営及び広域余暇・観光事業を推進している。</p> <p>○観光事業推進に向けた課題</p> <p>岩国市（調査は岩国地域を訪問した観光客のみ）の観光客宿泊率は1割未満であり、宿泊数が少ない状況にある中、宿白しない人の滞在時間の約9割が4時間以内となっていることから、通過型の観光地となっていることが一番の課題として挙げられる。</p> <p>また、岩国地域を訪れた回数が「初めて」と回答した人の割合は6客以上となっており、リピーダーの数が少ないことが伺える。</p> <p>岩国市内には錦川を中心とする自然資源や、日本酒の酒蔵、広島東洋カープの由宇練習場など、愛好家が遠くから度々訪れる可能性の高い様々な資源がありますが、それらの魅力が十分に活用できていないと分析されている。</p>

■所見

山口県岩国市の観光ビジョンについて視察してきました。米軍基地のまちとして知られ、年間300万人の観光客が訪れる中、通過型観光という課題をもっていること、そしてなにより本市の姉妹都市の和木町と隣接しているという点も含めて類似点をもつ岩国市であります。錦帯橋をはじめ潤沢な基地交付金を活かしたまちづくりは大変魅力あるものばかりでした。

特に、広島・宮島・岩国との広域的な観光振興施策については、新千歳空港を有する千歳市、来年度からボールパークが供用開始となる北広島市、そして花の拠点の恵庭市と近隣三市が有機的な連携を図りながら観光振興を進めていくことの可能性を改めて再認識した次第です。

本市の今後の観光振興計画を推し進める上で、こうした俯瞰的かつ広域的な視点を今後のまちづくりの議論に活かしていきたいと思えます。

視察研修先・山口県和木町
視察研修項目・「がん患者補正具購入費補助金」事業について
報告者・早坂 貴敏
<p>＊議員個々の考察と見解＊</p> <p>■視察に至る背景</p> <p>現在、日本人の二人に一人は癌になると言われていますが、癌治療を受けられている方々へ寄り添い、支援に係る施策の充実が多くのの方々から求められています。</p> <p>■視察の目的</p> <p>本市の姉妹都市である山口県和木町では、平成29年4月より癌患者に対して補正具を助成し、心に寄り添う施策を展開しています。この先進的な取り組みを調査・研究することにより、本市の人にやさしいまちづくりの一助につなげる事を目的とします。</p> <p>■主な内容</p> <p>○本事業の対象者</p> <p>補正具購入日及び申請日において、和木町住民基本台帳に記録されている癌患者を対象。＊補正具とは、乳房パッドや頭髪（かつら・ウィッグ等）</p> <p>○予算について</p> <p>乳房パッドの限度額は、片側20,000円、 頭髪（かつら・ウィッグ等）の限度額は、30,000円</p> <p>○近年の実績</p> <p>乳房パッドで平成29、30年と一名ずつ、それ以降はなし。 ウィッグで平成29年に5名、平成30年に3名、令和元年に1名、令和2年0名、令和3年2名</p> <p>■所見</p> <p>山口県和木町で行われているがん患者補正具購入費補助金事業について視察してきました。世界一のガン大国と呼ばれている日本において、本市の姉妹都市である和木町が癌患者に寄り添うまちづくりを先駆的に行っているということで、大変大きな刺激を受けました。とりわけ本事業を「特定財源なしの町単独事業」として実施されていることについては大変頭が下がる思いです。本市においても多くの市民が癌治療を余儀なくされていると伺っておりますので、ぜひ今後における人にやさしいまちづくりに向けた議論につなげていきたいと思っております。</p>

視察研修先・山口県下松市
視察研修項目・住みよさランキングについて
報告者・清和会副会長兼ねて政調会長 前田孝雄
<p>1 全般</p> <p>人口57,238人、平成12年から人口が増加し続けている下松市、恵庭市と類似している点が多々有り、商業・文化のまちづくり、安心できる暮らしの支援等、様々な取り組みや、市内を流れる河川の下流は住居地域として土地活用され、丘陵地や山間部は農林業の用途に供され、平成3年度には、未武川ダムが完成し、豊かな水資源に恵まれている。この様な背景に発展を続けてきた結果、住みよさが高く評価されている。</p> <p>この住みよさランキングの上位の要因について、取り組んでいる施策や課題等についてご教示頂くための大変有意義な視察となりました。</p> <p>冒頭に松尾下松市議会副議長からの冒頭の歓迎の挨拶で「下松市は、職員が非常に良く働いてくれます。」のコメントに、感動しました。準備して頂いた資料やプレゼン内容から一目瞭然、納得出来ました。視察対応に心から感謝申し上げます。</p> <p>2 視察に当たっての教訓事項</p> <p>(1) 良かった点及び課題等</p> <p>① 住みよさランキング、安心度・利便度・快適度・富裕度の全国総合13位、特に快適度が10位と気候の良さ、水道料金の全国1位の安さが際立っていた。</p> <p>② ランキングに一喜一憂しないというものの安心度・利便度・快適度部門でそれぞれ全国1位の統計指標が有ると言うことは、住みよさの満足と共に誇りや愛着につながるものと思料する。</p> <p>(2) 質疑に対する回答から見えた成果と課題</p> <p>① 現状は人口は微増しているが、将来的な人口減少につながる課題として、15歳～49歳までの女性の定着率が低く、男女比較では11%女性が少ない。</p> <p>② 人口流入状況については、男女ともに20～24歳、25歳～29歳で特に大幅な転入超過となっており、大学卒業後の就職や就職・結婚に伴う転居の影響である。</p> <p>3 本市に反映すべき事項</p> <p>(1) 下松市の20年以上人口が増え続けるまちづくりについて</p> <p>① 都市と自然が調和する快適に暮らせるまちづくり コンパクトシティとして市民や観光客が交流する憩いの場の創出</p> <p>② 安心して健やかに暮らせるまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども医療費、保育料の助成を初めとする子育て施策の推進 ・ 20～39歳女性人口当り0～4歳児数の全国1位 <p>(2) オンリーワン、何か一つ全国・全道1位になり得るものの創出</p> <p>① ものづくりスピリッツが高く、人口当り大規模小売店舗面積、全国1位 現在も何点か有るが、恵庭市自慢のお土産品を作り出し、産業の活性化</p> <p>② 全国に例を見ない3個駐屯地が所在する自衛隊のまちであり、全国に自慢できる自衛隊とのイベント開催を創出しPRする。</p>

視察研修先・山口県岩国市

視察研修項目・岩国市観光ビジョンについて

報告者・清和会副会長兼ねて政調会長 前田孝雄

1 全般

人口129,081人、恵庭市の約倍の人口を持ち、錦帯橋をはじめとして、多様な観光資源が点在しており、鉄道や高速道路、岩国錦帯橋空港がJR岩国駅の近傍に位置する交通アクセスの利便性の良い工業観光都市岩国市である。

今回の視察は、錦帯橋から他地域へ周遊を促す取り組みや観光ボランティアガイドの取り組み等「観光ビジョン」を研修、最後現地研修させて頂いた「愛宕スポーツコンプレック」には、野球スタジアムと陸上競技場の素晴らしさに、ただただ圧倒されました。

岩国市議会並びに事務局の担当者の皆さまに最高の「おもてなし」で対応頂きました。これも、恵庭市の過去の先輩議員との繋がり・絆のお陰と心から感謝致します。

2 視察に当たっての教訓事項

(1) 良かった点及び課題等

- ① 観光入込客数が令和元年3,223,578人～令和2年1,366,079人の42%減、錦帯橋入場客数が令和元年620,301人～令和2年294,765人の48%減、と如何にコロナの影響、インバウンドの影響が大きいかが理解出来た。
- ② 岩国市観光アンケート調査の実施：今後の観光行政をより効果的に推進するため基礎的資料として、岩国市を訪れる観光客の動向を把握するため、観光アンケート調査を随時実施。団体、個人旅行とバランス良く聞き取り調査を実施。
- ③ スポーツ振興のバロメーターは、陸上競技場と野球場の併設と認識しているが、出来たての愛宕スポーツコンプレックスを視察し、それを身を持って実感した。

(2) 質疑に対する回答から見えた成果と課題

- ① 広島県廿日市の厳島神社は、年間の観光客が非常に多く、そこからの岩国市への観光客の取り入れを図るためには、自治体との強力な連携が更に重要である。
- ② 新たなアウトドア観光としてアウトドア施設、沢トレッキング、清流ボートを体験型観光の目玉としている

3 本市に反映すべき事項

(1) 錦帯橋から他地区への周遊を促す具体的な取り組みを参照

- ① はなふるを拠点とした周遊、おもてなしの実施
花ガイドと共に、はなふる・えこりん村・ルルマップ・恵み野オープンガーデンをめぐる周遊バスの運行、又はフットパスによる花・公園巡り
- ② 市民主導とは言え、観光協会が全面に出て、リーダーシップを発揮して頂き、Web・プロモーション動画(YouTube)、SNS等を活用すべきである。

(2) 観光ボランティアガイド(花ガイド)の継続・推進

- ① 本市にも花ガイドや緑化フェアで組織したサポーターズクラブがありますが、是非とも一過性で終わらせることなく、引き続きご尽力頂きたい。
- ② 恵庭市の良さである市民主導による「おもてなし」の心が重要である。

視察研修先・山口県和木町

視察研修項目・がん患者補正具購入補助金について

報告者・清和会副会長兼ねて政調会長 前田孝雄

1 全般

本市の友好都市山口県和木町を視察しました。人口6,041人の町ですが、財政調整期金が14億675万円であり、町民1人につき23万2,867円（恵庭市1人2万5,714）の貯金、本市の約9倍で有ることに驚きました。

視察前日に米本町長と兼本議長を表敬訪問をしたが、大歓迎を受け大変嬉しく思いました。ガーデンフェスタ北海道2022の開会式には、お二人が激励に来恵され、閉会式には田中副町長と灰岡副議長が来恵され応援して頂きました。

来年は、和木町町制施行50周年と言う事で、再び応援に訪れたい町である。

今回は、がん患者補正具購入補助金について視察させて頂きましたが、福祉に優しい町という印象でした。

2 視察に当たっての教訓事項

(1) 良かった点及び課題等

- ① 研修の終始を通じて、田中副町長、兼本議長、灰岡副議長が対応して頂き、視察項目以外にも意見交換させて頂き、有意義な時間となりました。
- ② 保健センター渡邊真奈美所長から、このテーマを選考頂いた恵庭市議会の皆さまは心優しい方々だと思いますの挨拶に嬉しく思いました。

(2) 質疑に対する回答から見えた成果と課題

- ① 申請者の多くは60歳代が多く、ウィッグの相場はピンキリで10万円以内の方が多く、5年経過した場合は、再度申請が出来る制度である。
- ② 山口県アピアランスケア推進事業助成金（ウィッグ等の購入費の助成制度）との連携が重要であり、周知の重要性が課題である。

3 本市に反映すべき事項

(1) 2名に1人ががんに罹患する時代、本制度について本市への反映

- ① がん治療に伴う外見（アピアランス）の変化に対するケアを通じ、社会参加を支援し、がん患者のQOL（生活の質）向上を図るため、がん治療により脱毛した場合のウィッグや乳房を切除された場合の補整下着等の購入費の助成が必要であり本市にも反映させたい。
- ② 本制度については、特に女性のディケートな問題であるので、専門の女性職員及び保健士による対応に配慮する事も必要で有る。

視察研修先・山口県県下松市

視察研修項目・全国住みよさランキング事業について

報告者・長谷 文子

1. 下松市の概要

下に松と書いて「くだまつ」と読む市の名前の起源は、「百済の太子が渡来した際の港、百済津がなまって（くだまつ）」から付けた、あるいは「星が降った松」→「降り松」→「下松（くだまつ）」となったとの諸説がある。

天然の良港を擁する下松は、毛利藩政時代には農業のほか製塩業が盛んに行なわれ、大正末期には塩田の工業用地への転換を契機に沿岸部の工業開発を進め、日立製作所、笠戸船渠（現新笠戸ドック）、日本石油精製（現 ENEOS）、東洋鋼鈑、中国電力火力発電所、住化アグロ製造などが相次ぎ立地し、新幹線や船舶などの輸送関係から最先端の IT に関連するハイテクまで、幅広い製造業のまちとして「ものづくり」が行なわれている。

近年では、下松タウンセンターに代表される商業・文化のまちづくり、ふくしの里の形成など安心な暮らしへの支援等さまざまな取り組みをしている。三次産業の就業者は 63, 2%。

市政施行は昭和 14 年、面積 89, 34k m²、人口 57,190 人（2022 年 10 月末現在）。

2. 「住みよさランキング」上位を獲得するまでの経緯

下松市は、2022 年度住みよさランキング全国 13 位、県内 1 位（東洋経済新報社発表の「住みよさランキング」（安心度・利便性・快適度・富裕度）、さらに市内には 2 カ所のダムがあり、安価に水を供給しているため県内最安の水道料金は全国でも 6 番目の安さである。

安心度・・387 位、利便性・・47 位、快適度・・10 位（大型小売店舗面積は 1 位）、富裕度・・169 位。

下松市は、過去に 2 度財政再建団体に陥り、危機感を感じた市はまちの再生に真剣に取り組みはじめた。まず、45～60 名の職員が中心になり「政策会議プロジェクトチーム」を作り、庁内で発生した案件について協議をして解決に繋げるなど、横断的に情報の共有をすることで課題が見え、一丸となって取り組んでいる。

さらに、学校給食をセンター方式に切り替えたり、ごみ収集事業の民間委託など官民連携に力を入れた結果財政力の向上が図られた。

こうした努力の結果、さまざまな市民への行政サービスが「住みよさランキング」上位に位置する理由のようです。

3. 所感

2 度の財政再建団体に陥ったことがきっかけで、ここまで住みよいまちに発展した下松市は、快適度のランキングが最も高い。大型小売面積 1 位の結果を見ても、市民が住みよいと感じる買い物に便利さを感じているようです。それに伴い、若い人が移住することで人口増加が期待され、さらに合計特殊出生率が 1, 80 と全国的に見て高くなっている、元気なまちとの印象を受けた。特に「住みよさランキング」上位になったことに対する明確な答えは得られなかったが、市民の「くだまつ愛」が強いからだと感じた。

恵庭市も、まちづくりに大勢の市民が参画している。恵庭市を好きな市民をさらに増やすことにより、本市のますますの発展が見込めると感じた。

視察研修先・山口県岩国市

視察研修項目・「岩国市観光ビジョン」について

報告者・長谷 文子

＊議員個々の考察と見解＊

1.岩国市の概要

岩国市は、山口県最東部に位置し小瀬川を挟み広島県と接している市。世界遺産を目指す錦帯橋や天然記念物の白蛇の生息地として知られている。地理的に瀬戸内工業地域内に位置し工業都市として栄える。岩国錦帯橋空港は、もともと海上自衛隊とアメリカ海兵隊が使用していたところで、現在共同使用している基地のまちとしても有名であり、古くから恵庭市との関わりもある。

面積 873.72k m² (そのうち 8 割が山林)、人口 129.081 人。

2.観光ビジョンの概要

平成 27 年度策定。市内の観光協会、商工会議所、各商工会、観光事業者、その他民間団体が一体となり市の観光ビジョンに沿った取組をするために「岩国観光プロモーション戦略協議会」を設立し、観光推進体制の確立をした。

課題・・岩国市の年間観光客数は約 300 万人とのことだがその 9 割は日帰り、滞在時間は 4 時間以下、外国人観光客は 2～3 万人と少ない状況、錦帯橋周辺に観光客が集中しそれ以外はあまり知られていない。

対策・・観光ビジョンの基本理念として、『未来への創造』岩国市民が、岩国の魅力を再認識し、新しい魅力を創造し、愛着と誇りを持って未来へ伝える」としている。

基本戦略として 3 つの方向性・・1.錦帯橋周辺などの顕在資源を新たな発想で”みかく”

2.市域の潜在資源を新たな活用で”いかす” 3.一体的な観光振興に向けた新たな絆で”つなぐ”の 3 つで、それぞれ具体的な戦略が示されている。

3.所感

岩国市と恵庭市は、よく似ている。本市も「ガーデンフェスタ 2022」終了後の観光について、真剣に考える時期に差し掛かり、メイン（岩国なら錦帯橋周辺、恵庭ははなふる周辺）の場所から市内観光へ足を運んでいただいたり、周辺自治体との連携など学ぶべきところの多い視察だった。

岩国市の好意により、当初視察に入れていなかった「愛宕スポーツコンプレックス」という施設を案内していただいた。

もともと米軍の施設があった場所に、野球場・ソフトボール場・ピクニックパイリオン・陸上競技場・テニスコート・サンドバレーボールコート・屋外バスケットボールコート・カルチャーセンターなど、多くの市民がスポーツを楽しめる施設である。

恵庭市はスポーツ施設が不足気味ということもあるが、岩国市の「愛宕スポーツコンプレックス」は、場所も財源も本市の参考になるものではなかった。今後、恵庭市のスポーツ環境の整備について、不便を感じている市民のために、身の丈に合った施設を真剣に考えていかなければならない。

視察研修先・山口県和木町

視察研修項目・「がん患者補正具購入補助事業」について

報告者・長谷 文子

* 議員個々の考察と見解 *

1. 和木町の概要

和木町は、山口県の最東端に位置し、四季を通して温度差が少なく、年間平均気温は 15～16 度。人口 6.122 人、面積 10.58k m²。

瀬戸内工業地域の一角を占めているため、主要産業は重化学工業で、三井化学工場や ENEOS 製油所があるが、町内にはガソリンスタンドがなく SS 過疎地。

恵庭市とのかかわりは長く深く、明治 19 年に現在の岩国市や和木町あたりから 65 戸の団体移民が入植したことに始まり、昭和 54 年に姉妹都市締結し、40 年以上にわたり交流を続けている。

2. 「がん患者補正具購入補助事業」の概要

町の単独事業。

開始は平成 29 年 4 月 1 日。

予算 28 万円。

主に乳房パッドとウイッグ。

補助希望者は 60 代に多い。

補助内容・・・乳房パッド（片側）・・・上限 2 万円、ウイッグ・・・3 万円。

実績（両方合わせて）・・・平成 29 年 6 人、166.998 円、

平成 30 年 4 人、110.000 円、

令和 1 年 1 人、30.000 円、

令和 2 年 0

令和 3 年 3 人、90.000 円。

補助内容には、その他の項目を設けていて今後開発される補正具も含まれる。

3. 所感

決して多くの方が利用する補助事業ではないが（これは別な意味で多ければ深刻なことである）、乳房パッドもウイッグも女性の利用が多いと考えられる事業であるし、患者さんに寄り添った素晴らしいものだと思う。

私はこれまで乳がんになり患した方などからお話を伺ったところ、なかなか人に言えずに密かに闘病生活をされている方も多いと聞く。

このような補助があれば、人前に出る機会や勇気にも繋がる、ありがたい補助制度だと考える。恵庭市でも前向きに考えるべき制度だと感じた。

報告書3

視察研修先・山口県下松市
視察研修項目・住み良さランキングについて
報告者・自民党議員団清和会 南出典彦
<p>1 視察の目的 住みよさが評価されるまち、2022年度住み良さランキング全国第13位、県内1位の山口県下松市の政策の成果と効果を勉強し、恵庭市のためのさらなるまちづくりの資とする。</p> <p>2 下松市の概要 (1) 概要 下松市という地名の由来は、推古天皇の頃、鷲頭庄青柳浦の松の木に大星が降り、7日7夜光輝き「百済の皇子がこの地へやって来る」というお告げがあったことに始まり、このことから「星が降った松」が「降り松」、「下松」となったといわれている。 昭和14年11月3日、都濃郡下松町を中心に花岡村、久保村、末武南村を合併して市制を施行し、その後、昭和29年11月1日に都濃郡米川村を、昭和37年4月1日に都濃郡都濃町滝ノ口部落を編入合併して現在に至る。 大きさ、83.9k平方メートル、人口5700人、官民連携推進をしており、保育園民営化、パッカー社民営化、給食センター民営化などを実施、財政力指数県内トップで、水道料金が安く全国で6番目の安さ、市内に2つのダムがある。 松生副議長まちづくりテーマ「天の時、地の利、人の和」</p> <p>(2) 産業 ものづくりのまちと謳っており、久原房之助の活躍により現在は日立、鉄道鉄鋼などで有名である。新幹線の頭なども作っており、イギリスへ高速車両の輸送をプロジョクとしてイベント実施している。</p> <p>(3) 観光 笠戸島、三日月、アイランドトレイル、狐の嫁入り稲穂祭り、笠戸のヒラメ、天皇森古墳から埴輪が出土</p>
<p>◆大正時代以降、塩田の転用や埋立により工業都市として発展 ◆鉄道、鉄鋼、造船からハイテク機器関連まで、幅広い製造業が盛んな「ものづくりのまち」 ◆現代の名工、思馬発明賞、大臣表彰など名誉ある受賞者を多数輩出</p> <p>久原 房之助</p> <p>◆日立製作所が製造した英国向け高速鉄道車両の出発の際の輸送を見学。全国的に昼間の陸送見学イベントとして、全国から鉄道ファンが来場した。 ◆平成29年3月に引き続き、令和元年7月14日に「市制施行80周年記念事業」として2回目の実施。約35,000人が来場した。 ◆「ものづくりのまち」を広く周知するため、産官民の力を結集し、世界へ羽ばたく姿を多くの市民に見てもらい、夢と誇りと感動をもたらした。</p>

視察研修先・山口県下松市

視察研修項目・住み良さランキングについて

報告者・自民党議員団清和会 南出典彦

3 住み良さランキングについて

(1) 日本の人口状況

日本の人口は減り続けている、出生数も減り、2060年には1億人を切り静かなる有事と言われている、少子化対策待った無し、東京圏一極集中の是正が必要、26年連続東京の転入超過、大半は10代後半から20代前半、大学就職を求めている、女性の方が多く移動している、しかしながら若者の意識が地方で向いているという調査もあり

(2) 下松市の人口の推移

平成18年以降、自然減を社会増で補う構図、人口微増、県内隣接市からの流入が多い、コロナ禍により横ばい傾向、57200人前後がキープライン、出生数は500人ほど

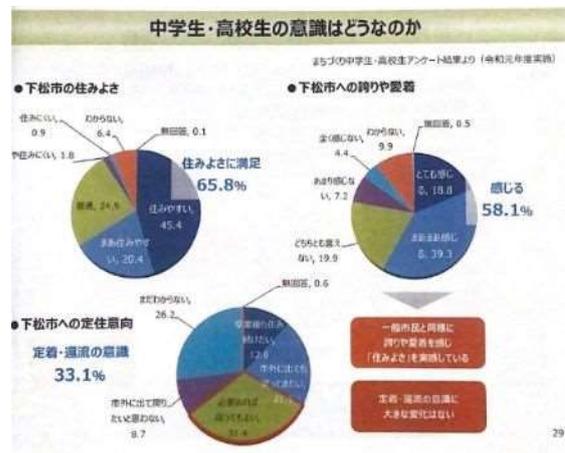
(3) 下松の良さ

住み良さランキング上位であり、気候良い、水道安い、大型店舗多い、などの理由が考えられる合計特殊出生率が高い。

市民の意識は→8割が住み続けたいとアンケート、中高生のアンケートでも6割が住み良い、誇りと愛着がある。

しかしながら、人口減少は避けられない、40年後には1万人減の予想、行政サービスの低下、経済の低下

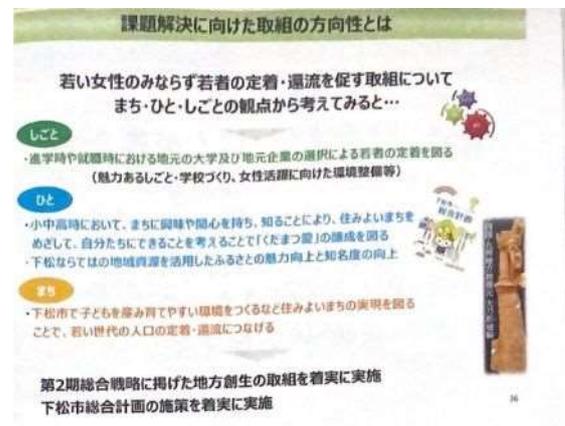
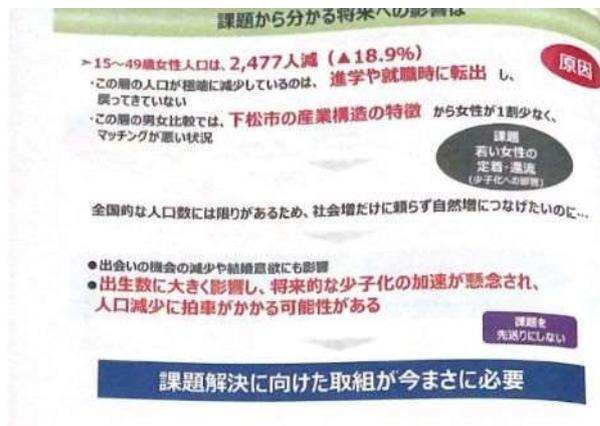
(4) 下松市の課題



視察研修先・山口県下松市

視察研修項目・住み良さランキングについて

報告者・自民党議員団清和会 南出典彦



課題からわかる影響は、出生数に大きく影響し、将来的な少子化の加速が懸念され人口減少に拍車がかかる可能性がある。

課題解決に向けた取り組みが今まさに必要、地元企業の選択による若者の定着を図る、小中高時にまちを知ってもらいための教育の実施、子育てしやすい街の施作街を知ってもらう街を好きになってもらう、街づくりに参加してもらう。

(5) 住み良さの要因



人口増加→地域活性化→財源の確保→必要な施作→住み良い→人口増加、、、
商業施設の誘致に成功、県道も近くに出来た、店舗と幹線道路の掛け算、小売販売額も高い、近隣市からも買い物に来る、快適度も高い、気候、水道が安い

4 その他、質問

1 上位の理由について、市の取り組みについて

水道、気候、が良い、総合的な要因で上位になるので一概に理由はわからない、今までの施作の積み重ね、避難場所の整備、防災訓練に力を入れている、子育て環境、待機児童ゼロを目指す、園の増設も目指す、学校の耐震計画の完了、安心に繋がっていると思慮

新たな街づくり、新造成地、インフラを整備して、人口増にしたい、人口形態が西によっているので東にもずらしたい、笠戸島のPR、ゆるキャラ「くだまる」の活用

視察研修先・山口県下松市
視察研修項目・住み良さランキングについて
報告者・自民党議員団清和会 南出典彦
<p>2 人口増の要因と世代について 25～39の女性転出増、近隣からの流入が多い、住宅開発があったので子育て世代が多くきた</p> <p>3 市民周知について 広報HP、Twitter、防災メール、市長Facebook Instagram、くだまるダンス、ものづくりのまちのPR、新幹線陸送のイベント、総合計画子供版の作成</p> <p>4 出生数が高い理由は？ 産業構造、人口構造的に、若く結婚し世帯を持つという事も要因</p> <p>5 出産ができる施設は？ 産婦人科はあるが、出産施設はない、隣の周南市にある</p> <p>6 まちづくりを進める上で、子どもたちへの具体的アプローチは？ 市長が子どもたちに話をきく（小6）→給食にヒラメ給食、子どもたちの意見を取り入れる場づくり、工場見学の実施</p> <p>7 投票率向上の取り組みについて 40%くらい、県内では少し低い</p> <p>8 豊井の街づくりについて 市内の人口バランスをとるため、企業の駐車場や空き地あり、隣接しへのアクセスも狙う</p> <p>9 庁内での連絡調整体制 連絡会議、政策会議にて行っている</p> <p>5 恵庭市への反映とまとめ 「まち」とは、たくさんの人によって家や店、工場などが多く集まっていおり議員や職員だけでは住み良いまちを作ることはできない、市民の皆様がまちを好きになって、様々なことに協力して取り組むこと＝まちづくりに参加してもらうことが重要 恵庭を知ることが恵庭が好きになることにつながる＝ふるさとに誇りと愛着がわく「恵庭愛」 複合的な様々な取り組みを進めること、とりわけ故郷教育が重要であり、恵庭でも参考にし、調査研究を進めたい。</p>

視察研修先・山口県岩国市

視察研修項目・岩国市観光ビジョンについて

報告者・自民党議員団清和会 南出典彦

1 視察の目的

岩国市の観光の現状と課題、観光ビジョンの基本理念、観光振興の方向性・基本戦略等を学び、さらなるまちづくりのための恵庭市への反映の資とする。

2 岩国市の概要

山口県の最東部に位置し、小瀬川を挟んで広島県と接している。山陽本線や山陽自動車道・国道2号といった幹線交通網が市の東西を貫き、岩国飛行場（岩国錦帯橋空港）、岩国港、新岩国駅、さらに第三セクター鉄道である錦川鉄道などがある。

観光都市としての一面も持ち、錦帯橋・岩国城を中心とした市内各観光地には年間を通じて観光客が訪れる。

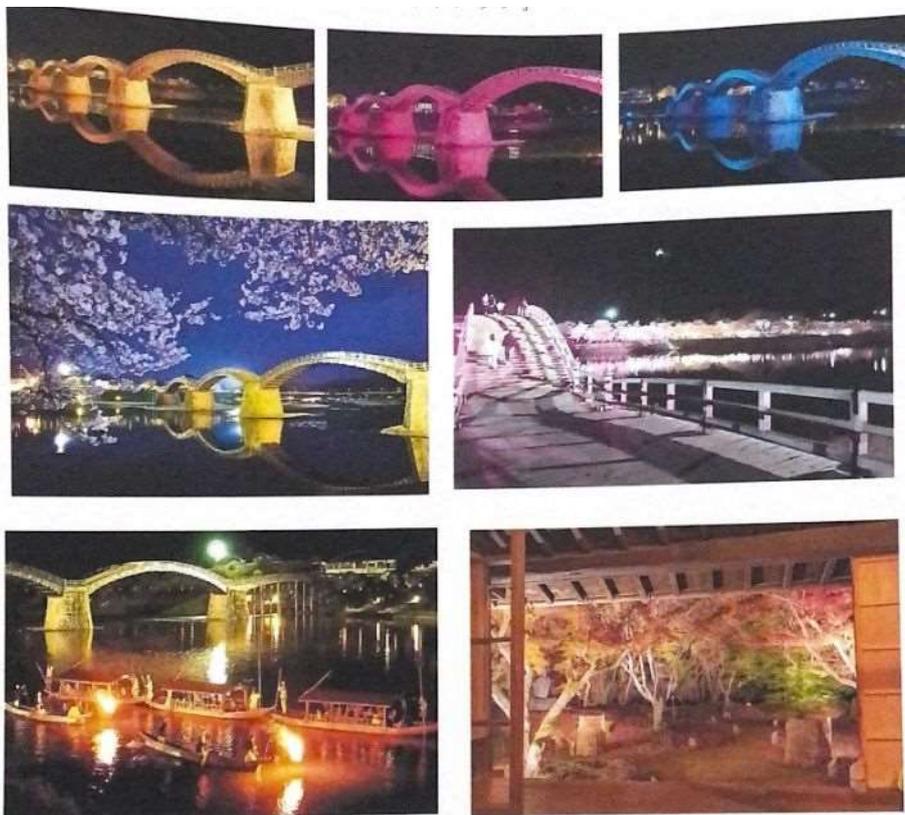
岩国飛行場には、在日米軍（海兵隊）と自衛隊（海上自衛隊）の基地が存在する。

平成18年に合併により発足、現在28人定数、873平方キロメートル、13万人、山口県5位、工業都市、三井化学、日本製紙等、観光都市、錦帯橋、観光客毎年300万人、基地がある街、岩国基地120機軍人家族等1万人、岩国空港10周年記念ツアーの実施140人参加

3 岩国市観光ビジョンについて

平成27年度に策定、現状と課題を定めて基本戦略を策定、年間300万人が観光に来る、錦帯橋だけで60万人、9割が日帰りであり、通過型である、滞在に切り替えたい

観光ビジョンの3つの戦略、錦帯橋からの周遊促進、観光推進組織の設立、岩国観光プロモーション組織、観光協会と商工会議所の合体、マネージャーはANAから派遣、令和2年度まで6年間在籍、体験型観光、夜型観光等の推進



視察研修先・山口県岩国市
視察研修項目・岩国市観光ビジョンについて
報告者・自民党議員団清和会 南出典彦
<p>4 その他、質問</p> <p>1 錦帯橋からの周遊について 観光資源と食の情報発信、パンフレットの作成、年2回タイムリーなトピックのパンフレット作成 岩国クエストリアル脱出ゲームの実施、PR動画の作成、観光モデルコースの展示</p> <p>2 周辺自治体との連携について 地理的特性は県内東の位置、広島に近い、宮島との関わりが強い、連携協議会を広島と作り、観光ブックの作成、スタンプブックの作成、宮島での観光宣言の実施、宮島との連携推進をおこなっている、島根県とも連携をしている、サイクリンコースの展示など</p> <p>3 観光ボランティアの取り組みについて おもてなしの推進が大事、35名の会員、予約受付案内、定点で錦帯橋のガイド、観光協会を受付している、市の施設の一部を協会の事務所、市のアンケートの委託等</p> <p>4 民間アウトドア施設について 県北に車で50分、キャンプ場が複数あり、コロナで錦帯橋は半減のところ、アウトドアは微増傾向、体験型のアウトドアプログラム等あり（民間）</p> <p>5 周遊が重要ということだが、具体的に詳しく アウトドアもできるとPR、リピーターになれるよう広域型のパンフレット（岩国クエスト）</p> <p>6 食の部分のPRは？ 地酒のPR、ワサビ、こんにゃく、道の駅でPR</p> <p>7 広域連携について、当初の立ち上がりは？ 歴史が古い、昭和46年から、広島が中心になり実施したと聞いている</p> <p>8 滞在型のための宿泊施設等の考えは、分析は？ 駅前近辺に東横イン、グリーンリッチ、AZ、なぜ増えたかわからないが、滞在の取り組みの結果で増えている部分もあると推察する、宮島広島市内の宿泊が多いと推測</p> <p>5 恵庭市への反映とまとめ 岩国市は通過型ということで、恵庭しと共通する部分がある。また、観光ボランティアガイドがあり、恵庭よりおもてなしの心の部分が高いと推察する。岩国は、歴史が古くアイデンティティが確立されており、おもてなしの心、よろこぶ錦帯橋のある岩国へ、という気持ちが高い＝ふるさと愛が高いと思われる。 やはり根本はまちのことが好きという気持ちが大事であり、小さい頃からの教育も大変重要と考える、これらを踏まえ、恵庭への資とし調査研究を進めたい。</p>

視察研修先・山口県和木町

視察研修項目・ガン患者補正具購入補助について

報告者・自民党議員団清和会 南出典彦

1 視察の目的

山口県和木町のガン患者補正具購入補助制度に対する取り組みを勉強し、恵庭市への反映の資とする。

2 和木町の概要

山口県の最東端に位置し、広島県と小瀬川を挟んで隣接している。町の面積は約10.58平方キロメートル、人口約6,300人で、山・川・海に囲まれた豊かな自然を有している。

また日本で初めての石油化学コンビナートが誕生した町でもあり、自然と工業が調和したまち

3 ガン患者補正具購入補助について

事業目的は、補正具を補助し患者の生活支援をすること、和木町住民対象

補正具とは、癌の治療後の場所を補正、パッド、ウィッグ等の購入補助、実績はパッド2万上限、ウィッグ3万円、年間28万円の予算、町の単独事業、毎月広報でPR

がん患者補正具購入費補助金

がん治療を受けている方やその家族の方へ、補正具の購入費を補助します。

補助対象者 補正具の購入日および申請日において、町内に住民票があるがん患者とご家族

補助金 下記の補正具の購入に対し、下表にある上限まで補助します。補正具1種類につき、5年度当たり1回のみ対象となります。

申請方法

補正具を購入した日の翌日から1年を経過する日までに下記の書類を提出してください。

- ①和木町がん患者補正具購入費補助金交付申請書
- ②補正具の購入にかかる領収書の写し
 - ※購入にかかる送料等は補助対象外です。領収書の金額に含まれている場合は、それらの金額がわかる書類の写しも提出してください。
- ③抗がん剤治療等を証明する書類（お薬手帳、診療明細書等）
 - ※証明書の発行手数料は補助対象外となりますので、ご了承ください。
- ④他の助成の金額がわかる書類（山口県の事業等を利用されている場合は、必要となります。）

①、③の書類は、保健相談センターでお渡しします。町ホームページからもダウンロードできます。

問 保健相談センター（☎52-7290）

正具	上限額
乳房（右側）	20,000円
乳房（左側）	20,000円
頭髮（かつら）	30,000円
その他の補正具	20,000円

4 その他、質問

1 策定のプロセスは？

和木町長の、がん患者の治療後もケアしたいという思いから

2 制度の課題は？

申請者の対象人数が把握できない、事業効果の測定が困難

3 申請年代は？

60代が多い

4 ウィッグ代3万で相場感とあっているのか？

ピンキリで理、申請があった中で一番多いのは10万前後

5 恵庭市の反映とまとめ

和木町長の思いから始まり実現できたことは大変素晴らしいものであり、感心するところである。

制度策定前には、まずニーズの調査から始めるが、この制度はニーズの把握も困難であり、様々な課題があるが、まずは委員会や一般質問などで議論を深めたいと思慮する。

視察研修先・山口県下松市
視察研修項目・住みよさランキング全国 812 市区中 13 位 県内 1 位の魅力について
報告者・石井美季
<p>＊議員個々の考察と見解＊</p> <p>岩国市から電車で約 1 時間ほど南西に行くと下松市があります。</p> <p>人口 57000 人で、恵庭市と同様に、全国的な人口減少傾向の中、少し増加しています。</p> <p>似ている部分がある一方で、住みよいまちとしての評価が非常に高くなる要因は何か、興味深いところです。合計特殊出生率は県内で 2 番目に高く、住みよさとの相乗効果があるようです。</p> <p>話を伺うと、ランキングを上げるための特別な施策はない、とのことでした。市の総合計画についての話によると、産官民による魅力ある街づくりの推進を掲げているようです。地方創生の取り組みで、「まちひとしごと」のキーワードが見えました。</p> <p>①市域資源を生かした魅力ある「しごと」を創生する。②若い世代の希望をかなえるとともにくだまつに誇りと愛着を感じる「ひと」を創生する。③生涯にわたり健康で安心した暮らしを続け、誰もが住みよさを実感できる「まち」を創生する。今年度からはこれに加えて、デジタルの活用の項目も加えられたとありました。</p> <p>今回の研修を通して分かったのは、とにかく、行政も市民も、街に誇りと愛着を持ってつながりあい支えあい、バランスをとっていることで、住みよさを実現していることです。</p> <p>ふるさと愛の大切さが身に沁みました。</p>

視察研修先・山口県岩国市
視察研修項目・岩国市観光ビジョンについて
報告者・石井美季
<p>＊議員個々の考察と見解＊</p> <p>山口県の空の玄関＝岩国錦帯橋空港は、米海兵隊岩国航空基地との軍民共用空港で、離着陸の際は基地内を通過する、といった貴重な経験もさせていただきました。</p> <p>さて、日本三大名橋の一つである名勝「錦帯橋」を有する岩国市の観光施策は肝いりです。岩国市観光ビジョンは観光の担い手となるすべての人の共通のビジョンとして平成 27 年度に策定されました。岩国観光プロモーション戦略（推進）協議会を設立し、官民一体となって、事業を行っています。</p> <p>特徴的な事業として、観光地の様々な楽しみ方を提案するパンフレットや常時開催のイベント、また、動画やWEBサイトといった多様なツールでPRを行っています。また、観光における周辺自治体との連携については、隣接する広島県と県境を越えた周遊プランを提案するなど、魅力的な PR を行っています。「岩国・宮島・広島」は、見どころ満載、距離が近く交通の便の良さもあり、短期滞在でも満喫できます。</p> <p>錦帯橋を中心とした観光施策の発想の応用は、今年全国都市緑化北海道フェアで大勢の方に足を運んでいただいた恵庭市の花の拠点「なふる」を軸とした、市内あるいは周辺自治体含めた周遊観光の施策の発想のヒントになるのではと考えました。恵庭市に滞在したい、暮らしたい、と思っただけのような魅力の見せ方を研究するための学びになりました。</p>

視察研修先・山口県和木町
視察研修項目・がん患者補正具購入費補助事業について
報告者・石井美季
<p>＊議員個々の考察と見解＊</p> <p>二人に一人はがんを患う、といわれています。がんの治療の開始後の QOL を向上することに寄与する補正具の購入への補助は大変ありがたい制度であると、思いました。この事業は、町長の提案によるもので、特定財源のない町単独の事業として平成 29 年に開始されています。保健相談センターの健康増進事業の一つに位置付けられ、一回の申請につき一種類、5 年経過すると再申請ができるものです。県の事業も令和元年から始まりましたが重複しないようにかつ、同種の補正具であっても別のもので購入日が異なる場合はそれぞれに申請可能になっています。</p> <p>がんに罹患することは、身体のみならず心の負担も大きく、暮らしに大きな影響が出るがあると思いますが、このような事業の充実で、治療後の人生に楽しみが見いだせるような明るい希望の光が見える気がします。</p>

視察研修先・山口県和木町
視察研修項目・家庭用防犯カメラ設置に対する補助事業について
報告者・石井美季
<p>＊議員個々の考察と見解＊</p> <p>町長の提案で実現したこの事業は個人の住宅用の防犯カメラの設置に対して補助するという全国でも珍しいものです。防犯カメラ及び画像データ保存装置等、防犯カメラと一体的に機能する機器の購入費、ケーブルの設置、工事費用、設置の表示にかかる費用が対象となっており、その2分の1の額で5万円限度です。</p> <p>この事業の創設は、町内の街頭犯罪の未讒謗し、犯罪に対する抑止力の向上、治安維持の促進及び安心安全なまちづくりの推進を図ることを目的とし、効果としては、防犯防災カメラとの抱き合わせ事業により刑法犯認知件数の減少がみられたと分析されています。</p> <p>この補助金を利用した設置数は今後の伸びしろがあると見られているため、ほぼ毎月広報で周知しているとのこと。</p> <p>撮影データについての一定のルールを設けており、プライバシーに関する苦情等は寄せられていませんが、具体的な事業効果の測定や、各家庭への詳細な説明が困難なことが課題です。</p> <p>恵庭市では、町内会単位での設置の補助がありますが、こちらも、様々な考えのある中で、課題があります。今回この事例を学ぶことで視野が広がりました。</p>

報告書

視察研修先・山口県下松市
視察研修項目・住み良さランキング1位について
報告者・自民党議員団清和会 宮利徳
<p>1. 視察の目的</p> <p>東洋経済新報社が全国812市区を対象として実施している「住みよさランキング」において、2021年全国10位、2022年全国13位となった下松市がどのようなまちづくりを実践しているのかを学び、その中で本市に取り入れるべきものを見出すことで、今後の恵庭市が更なる住み良いまちになることを目的とする。</p> <p>2. 下松市の概要</p> <p>面積：89.34km² 人口：57,190人 下松の由来：星が降った松→降り松→下松 2回の財政再建団体の指定を受けたが市町合併をせずコンパクトなまちづくりを継続。 財政構成の見直し指針の作成し住みよいまちづくりを実現。「ものづくり」のまちとして発展。 (日立製作所など鉄道、鉄鋼、造船が主な産業)</p> <p>3. 住みよさランキング全国上位のまちづくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2022年住みよさランキング全国13位、県内1位。安価な水を供給（全国で6番目の安さ） ・将来都市像：都市と自然のバランスのとれた住みよさ日本一の星ふるまちを目指して ・下松市の住みよさの要因：①コンパクトなまち ②便利な環境 ③安全安心に暮らせるまち ④豊かな水を供給 ⑤財政の健全なまち ・持続可能なまちづくりの実現に向けて 人口増加 → にぎわいの創出 → 財源の増加 → 施策の実施 → 住みよさの向上 ↑ ← — ← — ← — ← — ← — ← — ← — ← — ↓ ・下松市総合計画子ども版の作成→教育現場などで活用、郷土愛の醸成 ・住みよさランキングとは 安心度・利便度・快適度・富裕度によってランキング付け 下松市は快適度（転入・転出人口比率、水道料金、気候など）で全国10位 利便度：人口当り大規模小売店店舗面積が全国1位、人口当り小売販売額が全国27位 (近隣市から買い物に来る) 安心度：20～39歳女性人口当り0～4歳児数が全国1位 ・全国で上位のまちは人口増加・合計特殊出生率が高いまちが多い ・市民の意識 住みよさに満足67.2% 定住意向83% 誇りや愛着を感じる76.5% <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い女性の定着、還流が課題→女性の活躍に向けた職場や環境の整備（雇用の確保） ・下松市の人口の推移：H10年 55,004人→R4 57,190人（2,186人増 4.0%増加） ・出生数は500人／年程度の横ばいが続いている 合計特殊出生率は回復傾向（1.80） ・将来に向けての課題：15歳～49歳女性人口がH7年比2,477人減 製造業が中心のため男性の雇用が多い、男女のバランスが悪くなる

4. その他、質問

(質問) ランキング項目の中で特に力を入れている施策は

(回答) ランキングを意識してそれに直結するような取り組みを特別行なっている訳ではない

(質問) どの世代の転入が多いのか。またその要因は。

(回答) 住宅開発が進み、近隣市からの子育て世代の転入が増加した。SNSの活用や民間事業者と連携した情報発信の強化。郷土愛を醸成するための取組み（総合計画子ども版）などが要因。

(質問) 市職員間の情報共有について

(回答) 庁内政策会議、プロジェクト会議において関連部署が協議。

職員提案制度においても他部署にまたがることなども提案できる事が活発な提案を生む要因。

5. 恵庭市への反映とまとめ

住みよさランキングについては一民間事業者が実施しているランキングであることから、この評価項目のみに注力しランキングを上げることを目的にするべきではない。しかしながら住みよいまちをつくる上では一つの指標になり得る。今回視察した下松市においては2度の財政再建団体の指定を受けながらも、他市と合併することなく、市長をはじめ全職員がこれまでの体制や施策を見直し、真に市民に評価されるようなまちづくりを進めてきた結果がランキングに反映されたものと考えられる。

一つ一つの評価項目ではなく、市職員が活発な意見を出し合える環境、子育て世帯への支援、主権者教育と郷土愛の醸成などを継続して行うことで持続可能なまちづくりができることを学んだ。今後はこれらの点を中心に本市に反映させて行きたい。

視察研修先・山口県岩国市
視察研修項目・観光行政（岩国市観光ビジョン）について
報告者・自民党議員団清和会 宮利徳
<p>1. 視察の目的</p> <p>岩国市は錦帯橋という全国でも有名な観光スポットを有するまちであるが、市内への周遊やリピート客の獲得などにおいて課題であるとされている。本市においても花の拠点はなふるに来訪した方をどのように市内へ周遊させ、市内消費を拡大していただけるか、またリピートしていただけるかという同様の課題を有していると考え。岩国市の観光施策を学ぶことでこれらの課題解決に向けてのヒントを得るため研修を行う。</p> <p>2. 岩国市の概要（R4年4月1日現在）</p> <p>市政施行：H18年3月20日 面積：873.72km² 世帯数：65,109世帯 人口：129,081人 H18年に岩国市を含め8市町村が合併、約8割が山林。山口県の東の玄関口として新幹線駅、岩国錦帯橋空港を有するまち。 岩国市は以下の3つの顔をもつまち ①工業都市（繊維・製紙工場） ②観光都市（錦帯橋等） ③基地を有するまち（米軍基地、自衛隊）</p> <p>3. 岩国市観光ビジョンについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光振興の推進を図るためH27年度に策定。年間約300万人の観光客、観光客の約9割は日帰り ・観光推進組織の設立：H27.11月 岩国観光プロモーション戦略（推進）協議会を設立 <p>●観光振興の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光総合パンフレット、季節パンフレット（年2回発行）、観光プロモーション動画の作成 リアル謎解きゲーム（イワクニクエスト）の実施（市民400～500名の参加） ・広島・宮島・岩国地方観光連絡協議会：広域余暇・観光事業の推進 ・観光ガイドボランティア協会：会員数35名。予約客の対応と定点ガイドが主な活動内容。 年1回の養成講座。コロナ前は年間約4万人以上の観光客を案内 ・新たなアウトドア施設、アウトドアプログラム アウトドア施設：キャンプ場（4ヶ所）年間3,000～4,000人の利用者 プログラム：沢トレッキング、清流ボート <p>4. その他、質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・錦帯橋からの周遊施策：錦帯橋→アウトドア、秋の紅葉をアピールしリピートを増やす取り組み 市民向けの市内周遊事業としてのイワクニクエストを実施。市民400～500名の参加 ・食の要素として、日本酒酒蔵（瀬祭）、山林地区ではワサビ、こんにやく、道の駅への誘客 ・観光の広域連携：岩国市はS47から加盟。広島市が中心となり19市町が加盟 大変有効だが、組織が大きくなり細かい動きが出来にくいのが課題 <p>5. 恵庭市への反映とまとめ</p> <p>岩国市においては錦帯橋を中心に年間300万人の観光客を迎える観光都市であり、やはり観光施策においては先進的な取り組みを行っていると感じた。その中でも本市において以下の施策を検討したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①市内全域を使用したリアル謎解きゲームによる市内周遊の促進 ②千歳市、北広島市との広域観光事業 ③盤尻地区を活用し、民間事業者と連携をした新たなアウトドア施設、プログラムの検討 ④既存の団体や市民ボランティアを活用、発展させた観光ガイドボランティア事業の設立

視察研修項目・ガン患者補正具購入補助金について
報告者・自民党議員団清和会 宮利徳
<p>1 視察の目的</p> <p>和木町においては町長が率先し、先進的な施策を展開している。その中の一つにガン患者に対する、かつらや乳房パットなどの購入支援制度があることを知った。北海道においてはそのような取り組みをおこなっているとの認識はないが、西日本においては多くの自治体がこの助成制度を採用しているとのことで、その制度について学び、本市での採用について考えることを目的とする。</p> <p>2 和木町の概要</p> <p>町政施行：S48年4月1日 面積：10.58km² 人口：5,863人（R4.10.1時点） S54年に恵庭市との姉妹都市を提携。山口県の最東に位置し玖珂郡で唯一残る町（多町村は岩国市と合併）</p> <p>3 ガン患者補正具購入補助金について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制度創設の経緯：米本町長が身近な方のガン治療を目の当たりにし、治療費とは別にかつらなどの補装具購入にも費用が掛かることを再認識。特に女性にとってはよりよい補装具を身につけることで前向きに生活が出来るという思いから提案し、創設に至った。 ・趣旨：ガン患者に対する補正具購入費を補助。ガン治療後の社会参加の促進を図る。 ・対象：乳房パッド（片側上限2万円）、ウィッグ（上限3万円）、申請後5年が経過すれば再申請可 ・実績（H29～R3）：乳房パッド（片側）40千円（2件）、ウィッグ 357千円（12件）、その他 0 ・山口県アピアランス事業： R元年より開始。同じく補装具購入についての補助事業。二つの助成を併用はできないが、交換などによって同じ補装具で違う領収書が発行された場合はそれぞれに申請が可能。 <p>4. その他、質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請者の年代：40代～60代が多い <p>5. 恵庭市への反映とまとめ</p> <p>山口県では和木町をはじめいくつかの自治体が採用したことで、現在では山口県としても同様の補助制度を創設している。本市においてはその必要性の有無を考えるために、まずは保健センターなどとガン患者に対する実態調査が必要と考える。ガン患者以外にも様々な面で助成が必要な方がいるため幅広く調査研究を行い、需要と効果について考えながら慎重に進めていきたいと考える。</p>

和木町がん患者補正具購入費補助金について

和木町では、がん治療を受けている方やその家族の方へ、補正具の購入費を補助します。

補助対象者

- 補正具の購入日および申請日において、町内に住所のあるがん患者
- 申請しようとする補正具について、山口県アピアランスケア推進事業助成金の交付を受けていない方

補助金について

下記の補正具の購入に対し、上限額まで補助します。補正具1種類につき、5年度当たり1回のみ対象となります。ただし、他の助成等がある場合は、その額を除きます。

補正具	上限額
乳房(右側)	20,000円
乳房(左側)	20,000円
頭髮(かつら)	30,000円
その他の補正具	20,000円

申請について

以下の書類を提出ください。

- ① 和木町がん患者補正具購入費補助金交付申請書
- ② 補正具の購入にかかる領収書の写し
 ※購入にかかる送料等は補助対象外です。領収書の金額に含まれている場合は、それらの金額がわかる書類の写しも提出してください。
 ※補正具を購入した日の翌日から1年を経過する日までの領収書が対象です。
- ③ がん治療を証明する書類
 抗がん剤治療等の受診を証明する書類(お薬手帳、診療明細書等)
- ④ 他の助成の金額がわかる書類

問合せ先

和木町保健相談センター
0827-52-7290

